

「訪問看護及び療養通所介護における医療と介護の一体的なサービス提供につ
いての調査研究事業」にご回答くださった訪問看護事業所の管理者様
二次解析へのデータ再利用のお願い

国立看護大学校 藤田淳子

令和 5 年度「訪問看護及び療養通所介護における医療と介護の一体的なサービス提供につ
いての調査研究事業」にご協力いただきまして誠にありがとうございました。おかげさま
で 3,608 件の訪問看護事業所様よりご回答をいただきました。集計結果は 3 月末に報告書
として公表されております。

本事業で皆様にご回答いただいた内容は、訪問看護のサービス提供および多職種連携の実
態を把握するための貴重なデータです。そこで、この調査研究事業における検討委員会委員
(藤田、辻村)が中心となり学術研究として二次解析を行いたいと考えております。

つきましては、本来の老健事業の目的にくわえて、以下の目的・手順にて事業所名を削
除した匿名データとして協会からご提供いただき、分析に用いることに関して、改めてご協
力をお願いする次第です。回答いただいた事業所には何ら追加の負担はありませんが、もし
自事業所のデータについて研究目的での再利用に同意されない場合は、お手数ですが、
2024 年 5 月 31 日までに下記の連絡先までご一報ください。その他、ご不明な点がある場
合もお気軽にお問い合わせください。

- ・二次解析の目的は、事業所のサービス提供状況、多職種連携状況、および関連する要因
について明らかにすることです。
 - ・記載いただいた事業所名はあらかじめ除外された匿名データを用います。
 - ・分析結果は統計的に処理し、また事業所が特定し得るような集計は行いません。
 - ・本調査で得られた情報は、研究目的以外には使用しません。
 - ・本調査で得られたデータについてはパスワードを設定し、外部への研究公表後 10 年間
保管した後に速やかに廃棄します。
 - ・集計した結果は、関連する学術集会等で公表します。公表の際は本データが当該老健事
業のである旨を明記します。
- * 研究者によるデータ再利用へ同意なされない場合のみ、下記に事業所名をご連絡くださ
い。その場合でも事業所に不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合は同
意を得たものとして二次利用の分析対象とさせていただきます。

連絡先 国立看護大学校 教授 藤田淳子

E-mail: fujitaj@adm.ncn.ac.jp